

月刊「幼児の母」に就て

幼稚園の家庭教育指導のはたらきの一助にも、昨年一月、月刊「幼児の母」を始めてから、もう二年になります。毎號甚だ不出来ですが、それでも廣く各地幼稚園の御賛同を得て、月々、保護者へ配つて下さる方が多くなりました。

あんな小さいものですが、従つて内容も簡單至極のもので、大によろこんでゐます。ほんの四頁さいふのもの、忙しいお母さんの立讀みにもさいふ、初めからの計畫で、手にされる方は皆、讀んで下さることゝ、これが何よりなのです。

就ては、従來の方々は勿論おつゞけ願ひますし、新しい方々にもお願ひいたします。尚ほ、今までは毎月「幼児教育」で御覽の上の註文を本體に願つてゐましたが、もう大體お分り下さいましたことゝ思ひますし、月々の御申込みは、皆さんの方にも御手数数の多いことですから、半年分なり一年分なりまとめて御註文下さるやう願ひます。當方でも印刷部数の豫めきまつてゐることゝ、時節柄必要になりましたのです。それで新しい幼児の入園から新たに御配布の方も多しと思ひますから、四月を初めとして、四、五、六、七、三四ヶ月を一期、九、十、十一、十二、三四ヶ月を第二期、一、二、三、三ヶ月を第三期としてまとめて

た方が御便利かと思ひます。一年拂は十一ヶ月分。

申込規程

一、御註文は十部を一單位として、實費を左の通り申受けます。

○十部 金貳拾錢（一部貳錢）

○送料 十部まで三錢 二十以上送料不要

○十部以下の端數はおこしはりします。

一、御註文の節は部數は何ヶ月分さいふことゝ御送り致す宛名を特にはつきりお書き記し下さい。

一、右御註文のお申込みと同時に必ず前金でお拂込み下さい。本會の振替口座（東京一七二六六番）をお用ひ下さるのが御便利です。

一、お申込みお拂ひ込みは、東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、日本幼稚園協會宛。

序に甚だ立入つたことゝのやうですが、御利用の仕組は（イ）幼稚園が保護者に無料で配布される場合、（ロ）實費を保護者銘々の負擔になさる場合、（ハ）幼稚園内の保護者會或は母の會等が費用の負擔をなさる場合等、その他いろいろの仕組があらうと思ひます。

充分御利用下さい。

する様な育て方をいたしまして、眞に國家の要求する様な人間をつくるこいふ自覺のない母親が少なからぬのであります。さういふ家庭教育をうけた兒童が國民學校にはいり上級學校に進みましても、所謂三ッ兒の魂百まで、中々先生の命に従はない、これが學校を出て工場にゆき、會社に勤め、役人になります。さうも禮儀を知らず、我儘で、怠け者で、無氣力で責任感がない。こまつたこまになりま

す。嘗て、フイヒテは普佛戰爭後、獨逸が疲弊しまして武力も經濟力も失ひ、國家として再興するのにはもはや教育しかないこいふこきに立ち上がったのであります。彼はあの有名な「獨逸國民に告ぐ」こいふ講演の中で、獨逸家庭の腐敗、墮落してゐる現状をなげき、幼兒の教育をかゝる父母に托するこは心配であるからよろしく國家の手に引きまつて眞の教育をほごすべきであるこ述べてゐます。わたくしは我國の現状がまさか、こゝまで到つてゐるこは思ひませんが、少くも相等多く心配な家庭があるのであります。

かゝる際におきまして皆さんは、幼稚園、保育所に於て、眞の幼兒教育をやつていたゞき、幼兒を通じて各家庭に、また自宅に於て兒童を教育してゐる父兄に、現代に於ける幼兒教育はまさにかくの如くでなければならぬこいふこ

を徹底していたゞきたいのであります。この意味におきまして、幼稚園、託兒所に於ける幼兒教育はまことに重要な使命をもつものこ考へられるのであります。

(三) 幼兒教育の指導理念の確立

そこで先づ第一に申上げたいのは幼兒保育の目的であります。これは幼稚園令第一條に「幼稚園ハ幼兒ヲ保育シテ其ノ心身ヲ健全ニ發達セシメ善良ナル性情ヲ涵養シ家庭教育ヲ補フヲ以テ目的トス」こありまして極めて明瞭の様であります。しかし乍ら、こゝにあります善良なる性情こいふ意味はフレーベルの謂ふ所の善良な性情ではありません。これは勿論、日本人としての善良なる性情こいふ意味であります。また善良こ申しましても唯、やさしい、わるいこをしないこいふ様な消極的の意味ではありません。それは眞にお國のお役に立ち、天子様に忠誠をつくすこころの本當の日本人たる性情を意味するのであります。さう云ふ意味で先般、關西聯合保育會からもこの第一條を國民の本義に基き國民學校令の理念に添ふ様なものに改正してほしいこいふ意見書が文部大臣に提出せられてゐるのであります。これはわたくしなごも甚だ結構なここ、思ふのであります。國民學校令の第一條は御承知の様に「國民學校ハ皇國ノ道ニ則リテ初等普通教育ヲ施シ國民ノ

基礎的鍊成ヲ爲スヲ以テ目的トス」云いふのでありまして
國民學校教育の精神は皇國の道に統合歸一するこゝを目標
としてゐるのであります。この精神は中等教育も高等教育
も、更にすすんで學校教育のみならず社會教育も一般國
民全體の教育もこれによるべきものでありますから、勿論、
幼兒教育も例外たるべきものではありません。いやむしろ、
三ツ兒の魂百まで云いふこの白紙の間に十分染みこませて
おかねばならぬものであります。

わが國の教育の根本は何ぞ申しても、大君のお役に
たつ者をつくるさいふことでありまして、御承知かとも存
じますが東郷元帥の御母さんは寢てゐる子供の枕もこはあ
るかれず必ず足もこもあるかれた、これはわが子乍ら將來
は 陛下のお役に立つ子供と思へば女の身でその頭のこ
ころはあるけなさいふ御志だつたさいふことでありま
す。この心構へが大切でありまして、皆さんが幼兒を保
育なさるにあたりまして、これが後々にはわが 大君
のお役に立つのださいふ根本を離れないでいたゞきたいこ
存じます。そこからにじみでくくる愛情が眞の日本人とし
ての愛情でありますし、これではこまるさいふ怒りの念
も、こゝからでくくるならばほんものゝ怒りであります。
こゝにもつてまゐりました歌集は舊國歌集きゅうこくかでありまし
て、これはつひこの間出版せられたものであります、有

名な幕末の烈士、水戸の方で佐久良東雄先生のお歌を集め
たものであります。この方のこゝは平泉澄博士が、眞の日
本人としてこれを讀へられ、佐々木信綱博士は勤皇隨一の
歌人として賞めておられます。この歌集の中にこんなのがあり
ます。

きこ、にらみて、ふしたる虎の畫をみて

おほきみのまもりこならんますらをも

かくこそあれおもはるゝかな

虎がいかにも強さうに、きこにらんである繪をみられま
しても、すぐ 大君を守るますらをはかくこそあつてほ
しいとすぐにそこへ心が向いてゆくのであります。

またこんな歌があります

いのちだにおしからなくにおしまるゝ

ものあらめやも君かためには

ちりじまつわかものはなきよの中に

きみのめくみをわすれさらなむ

まここに深く反省して味ふべきお歌であります。しかも
先生は單にかゝる歌をよまれたさいふだけではありません
ん。身をもつて、その心懸を實踐して居られるのでありま
す。そして幕府のために捕へられて獄中に死んで居られま
す。

大東亞戦争がはぢまりました時、當時の新聞に、きこか

生さいふ方面がまだ十分に徹底してゐない様に思はれるのであります。殊に今や我國は大東亞共榮圏の建設に多くの人を要し、たつた一億の人口をもつてやつてゆかねばなりませんのに、御承知の様に幼児の死亡が多く、また病人が多いためです。年々十五六萬の若い者が結核でたはれてゆきます。この際におきましては、これからの幼児を立派な身體をもつた人間に育て、ゆくこゝが實に必要なこゝであります。さうぞ皆さんはこの養護、衛生の方面に一層の御努力を願ひたいのであります。

勿論これにはいろいろの設備が必要でありまするが、しかし眞に陛下の赤子をおあづかり申上げてゐるのであるさいふ自覺をしつかりお持ちになれば時局下設備が出来なくとも相等の成績をあげるこゝは不可能ではありません。

わたくしの知つてゐるある女學校の先生は毎月自分の組の生徒の體重をはかりました。ところが一人の女生徒がだんだん體重が減じてゆく、別に病氣をしてゐる様子もないので親切にいろいろ尋ねて見ますと、家庭的に心配があるこゝがわかりまして、家庭と連絡をとりつひにその原因を除き得た方があります。毎日接してゐる可愛い幼児の顔色、目つき、態度をよく注意してをりますと、お医者さんでなくても健康診断は出來ます。勿論定時の、または定日の健

康診断をお醫者にやつていたゞけるこゝろはこれに越したこゝはありません。そして幼児の異常を早期に發見しまして手あてを加へるこゝは實に大切であります。殊に傳染病なきは是非、早期に發見して蔓延しない様にしていたゞきたいと思ひます。それから清潔さいふこゝ、不潔なこゝろから病氣が忍びこみます。よく手足を洗ふこゝ、爪を切るこゝ、こんなこゝは皆さんの方が詳しいと思ひますから略しておきます。これに關聯いたしまして、便所の不潔な幼稚園が間々ありますが、これはそれだけでその幼稚園は駄目だこゝ申してよいと思ひます。便所さいふこゝろは大切なこゝろでありまして、禪宗のお寺なきへまゐりますと、便所にいつも新しい花が生けてあるこゝろがあります。また管長さんなきが眞夜中にそつゝ起きて小僧のゆく便所を一人で掃除されこつそりゝ寢られて知らぬ顔をしてをられる方があるさうです。さうぞ外のこゝろはさもなく便所だけは皆さんが他人にまかせず自分で掃除をして下さい。これは實に大切なこゝろであります。

それから幼児に正しい姿勢をこらせておくこゝ、これは健康の根本でありますから是非御注意を願ひたいと存じます。脊柱彎曲は内臓の故障の原因になるさいふ様なこゝもありますので國民學校をはじめ學校では種々努力してゐるのであります。さうも徹底せず、二三年前文部省で高等

學校の生徒約一萬五千人について調査いたしましたところ何七七十人以上も脊柱彎曲の生徒がありました。これはまた單に健康のためばかりではなくお話をきいたりする際にも、からだを曲げてゐては十分精神がはいらぬのであります。

また新しい空氣と日光の必要なこと、適當な休養を忘れないことなき、養護について必要なことが多過ぎ存じますが、わたくしはこゝに養護についても、さきに申し上げますが、わたくしをお忘れにならない様に御注意願ひたいと存するのであります。

即ち西洋と我が國とは氣候も風土も違ひますしまた親からの遺傳的體質も違ふのであります。即ち我が國は北に大陸をひかへ南から暖流にあらはれます關係上、非常に濕氣の多い國がらでありますし、またそのために五穀がよく實り魚類が豊富であるために穀物と魚類とを常食としてきた國民であります。かゝる國民は、乾燥した土地に肉類を常食としてきた國民との間には生活の上にも種々の相違があり、幼児の養護といふ點でも西洋のやりかたを直ちにもつて採用することは考へるものであります。

近頃よく肉の配給が足らぬといふことをきゝますが、はたしてそれほど日本人に肉が必要でありませうか。吾々の祖先は肉食せずして非常に強健であつたのであります。歴

史をよんで見ますとそれは明瞭でありますし、今から三百七八十年前に日本にまゐりましたクラセイといふ西洋人の書いた日本西敎史といふ本の中にも日本人が強壯にしてよく戰鬪に堪へ、身體長大にして精神が活潑でありよく物に堪へ忍ぶことは實に感ずるにあまりがあるといひてゐますし、また元祿の頃日本にきたケンベルといふ獨逸人のかいた日本紀行の中にも、日本人は諸草、諸根、海草の類をもつて生を養ひ、水を常にのんで、あらゆる艱難を堪へ忍ぶ國民であるといふことをのべてゐます。

日本の古來の醫學を研究してゐる方は日本人は肉はたへない方がよい。これは腸内で腐敗し、自家中毒をおこす、また血液を酸性にするのでよくないといふ申しておられます。第一次大戰前までは西洋でもフォイトといふ榮養學者の説が行はれまして肉食がすゝめられましたが近來はドイツに於ても肉食の害が唱へられ野菜食を可とするものが増加してきました。現にヒットラー總統は肉食をしないであれだけの活動をして居ります。

砂糖につきましても同様のことが云はれてゐます。殊に米食は體內では糖分になるのでありますし、又副食物を煮る際には大抵砂糖を入れるのでありますから、その外に菓子や喰べねばならぬといふことはありません。

日本人の正食としては主食物としては米、副食物として

は野菜、海藻類、骨のまゝの小魚がいゝのであります。

それから人間の胃腸は試験管の様なものではありませんから、只栄養を何カロリーつめこんだからそれでよい云ふものではありません。胃腸で消化し、これを攝取してはじめて栄養となるのでありますから、少食の方がかへつて胃腸を健全ならしめ十分の攝取が出来るのであります。

近時我が國に於てはこの西洋流の栄養さいふことを誤り傳へまして、幼児にもなるべく澤山たべさせるのがよいさいふ考がさかんになりまして、ある中學の先生が生徒に向つて諸君は生長ざかり食ひ盛りであるから、御飯は一日十二杯以上たべよと訓示されたさいふ様なことをきゝましたが、さういふ風に考へてゐる方が少なからずあるのであります。これは間違ひでありまして、大食は胃腸擴張を起し、それが益々大食を可能ならしめましてつひに慢性の胃病病患者にしてしまふのであります。

以上のことは幼児にまつても大切でありまして必ずしも澤山たべる必要はありません。むしろ愉快な気分でたべさせ、また十分咀嚼させるさいふ様に、そのたべさせ方が大切であります。

このよく嚼むさいふことは少量でも満腹感をおこさせます、その上かみくだくさいふ物理的作用の上に、唾液を混入させまして糖分その他の栄養さして胃に送るさいふ化學

的作用をも營ましむるものでありますから幼時からこの大切な習慣をつけさせることが必要であります。

食事についてはこれ位にしておきまして、これは後に申上げる鍛鍊の方さも結びつくさ思ひますが、幼児から坐る習慣もつけてほしいさ思ふのであります。わが國でも大分椅子生活が流行して居りますが、家庭へかへればまだ坐る方が多いのでありますし大きくなれば禮儀さしてもこれをやらねばならぬ機会が多いのであります。近頃學校でやつて居ります鍊成講習會には大抵坐るさことが多いので學生生徒はすはつてゐる様でありますが、これは心を落ちつけるによいばかりでなく、腰の力を強めます。日本人が腰の力の強いのはこの坐る習慣があるからだささへ云はれてゐます。またこの坐るさいふことは前に申上げました脊柱彎曲を防ぐのであります。椅子にかけて身體を曲げて机にもたれかゝつてゐる習慣が脊柱を彎曲させるのであります。

さういふ意味で出来るならば幼児にも、養護室の一部に疊敷きの部屋をつくつて運動の後にはそこで暫くでも靜座をさせる習慣をつけてほしいさ思ふのであります。

最後にこれはさうも皆さんにやつていたゞけない様な心地がしますし、まだ文部省督學官としては申上げるのは早すぎる様な氣がするのですが、私個人の體驗さしまして是非御研究を願ひたいさがあります。それはお灸のさ

であります。

わたくしは二十年以前からお灸をやつてゐます。そしてそのお蔭で健康を維持してゐる様に思ふのであります。お灸といふものは血液中の白血球を増加させますので病氣に對して抵抗力をたかめ、赤血球をふやまして吾々の體内に酸素をこり入れるに必要なヘモクロピンを多くしてくれます。それから血液中のカルシウム量を増加させますし、また尿量を増して、體内の毒素を排泄する力をたすけます。そのほか、神經の働きをよくしますので、たかぶつた神經をしづめたり、活動のよはつた神經をよく働く様にします。さういふ意味で健康を高め、病氣を豫防し、また治癒せしめるのです。

我が國では欽明天皇の頃、支那から輸入されました、中世紀では殆ど一般國民の常識になりました。當時、醫師は灸と鍼と藥とを用いたものであります。明治以來は殆ど醫師からはかへり見られませんが、民間療法として一部に行はれるにすぎない有様となつてしまひました。吾々の祖父母の時代には子供が生れます三百日以内にチリケの灸を申しまして、脊骨の第三椎にある身柱といふところへ灸をするたものであります。この風習は現今では鳥取縣、島根縣といふ様な山陰地方とか四國のある地方にかに残つてゐる位ださうですが、惜しいものだと思ふのであります。

わたくしの近所で小兒喘息の子供さんがあり、さうしても全快しないのでお灸の話をしました。た處が早速實行され、今でも時々やつてをられますが、その後全快されて殆ど發作がおこらなくなつたのであります。

一般の人は今だにこのいふ灸を野蠻な遺風の様に考へられたり、あさが残るからいやだとか、熱いからおそろしいとか云はれますが大したことはないのです。それに病氣や手術さくらべては問題にならないことでもありますから、もし皆さんのうちでやつて見ようと思はれる方がありましたら御研究を願ひまして先づ自分が實行して見られ、確信を得られました上、幼兒の養護にも御利用を願ひたいと思ひます。

お灸のきくことゝの實例をわたくしは澤山知つてゐますが、今日は割愛しておきます。くはくは中山忠直氏のかかれました漢方醫學の新研究とか、代田文誌氏のかかれました、澤田流開書鍼灸真髓、明光記等をおよみになればわかります。

さもなく、わが國は前に申し上げました如く濕氣の多いところてあります。濕氣が多すぎるとは神經系統をよほめ、呼吸器をわるくします。それで神經を刺戟してこれを働く様にする灸なごが過去に於て發達したものと思ひます。

只、大切なことはお灸も、勝手に自分でさうこへでもするてもかまはないといふものでなく、信用のある、なるべくならば斯道の大家にやつていたゞくことゝが必要であることゝです。

(つづく)